



一般社団法人 都市計画コンサルタント協会

協会レビュー 2018 年第 1 号

協会での取り組み

官民のネットワークづくりに活かされています！

「官民中堅技術者交流会」に参加された コンサルタントの感想を紹介します

協会レビュー2017 年第 4 号では、当協会による取り組みの紹介として、国土交通省で都市計画行政を担う担当者と、実務者である民間コンサルタントによる「官民中堅技術者交流会」を取り上げました（詳細は協会ホームページからご覧ください）。

平成 29 年度の交流会にはコンサルタント側から 9 名の参加があり、国土交通省ならびに同業他社との意見交換や交流を促進できる機会として、大いに盛り上がったようです。

今回、平成 29 年度の参加者の中から 2 名の方（昭和株式会社 青野智樹様、中央コンサルタンツ株式会社 中島慎一郎様）にご協力いただき、会に参加された感想を書いていただきました。これを本号でご紹介させていただきますので、概ね 45 歳未満の皆様、今年度の参加をご検討ください！

（編集チーム 津端）



■ 交流会の様子

都市計画に係る中堅・若手技術者交流会に参加して

昭和株式会社 都市調査室 青野 智樹

この交流会の参加について社内で話があった当初は、一体どのような会なのだろうかと楽しみと不安が混じった心境でした。国土交通省の職員の方と民間コンサルタントの方が一同に会して意見交換をするような場に参加するのは初めての事で、初回は少し緊張していましたが、すぐ後に懇親会を開催していただいたお陰で、皆様のキャラクターも垣間見えて楽しく過ごせました。

第 2 回及び第 3 回では、コンサルタント側が一人ずつ事前に決めておいたテーマについて概要説明をした後で意見交換をする流れですが、ここが大変興味深く感じたところでした。国土交通



省の皆様は、それぞれ別の部署で、これまで様々なキャリアでご活躍されてきたと思いますが、具体的な事から概念的な事まで、経験や事例等を交えて、実に豊富な視点から問題解決のヒントをいただきました。個人的に勉強不足・見識の狭さを痛感しましたが、そういう考え方もあるのか、という新鮮な発見が多々あり、とても充実した時間となりました。

また、同業他社の同年代のコンサルタントの方が実際にどのような仕事をされているのか、テーマや問題意識に対してどうアプローチしようとしているのかについても関心がありました。立地適正化計画や空き家活用等の旬なテーマをはじめ、コンサルタントの役割やマスタープランのあり方など普遍的な話題にも広がる中で、様々な角度から考えることの大切さに改めて気づかされました。

会の中で特に共感したのは、「まちについて語り合うことが大切」という言葉です。職場や業務上の関係者という限定的な枠から時には外に目を向けて、視野を広げ色々な見方・考え方に触れること、コンサルタント同士の連携や交流の機会を持つこと、などについては私の職場でも伝えていきたいと思います。

最後に、この交流会が私にとって気づきや発見を数多く得られる貴重な場となり、会を企画・準備していただいた方、参加された皆様、本当にありがとうございました。

都市計画に係る中堅・若手技術者交流会に参加して

中央コンサルタンツ株式会社 中島慎一郎

私は、各社の技術者の皆さまの取組みや国土交通省の方々がコンサルタント技術者に求めることなどを聞き、自分自身の視野を広げることを目的として、「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」に参加しました。交流会を終え、都市計画に関わる技術者としての引出しを増やすきっかけになったと実感しています。

交流会においては、私自身が取り組む市街地整備計画について、空き家・空き地対策の視点から助言をいただいたほか、現在の都市計画のトレンドである立地適正化計画に関連した情報や考え方などについての意見交換が展開され、参加したからこそその新しい発見がありました。また、国土交通省、自治体、コンサルタントそれぞれの立場で担うべき役割について、客観的な視点から話をお聞きできたことも新たな理解に繋がりました。

懇親会における会話の中でも、各社の技術者の皆さまが日々感じている悩みに共感したり、普段は聞くことのできない都市局業務について伺うことができたりと、貴重な経験ができました。

交流会を通じて、都市計画分野の第一線で活躍されている皆さまから感じた熱意は、私にとつ



て大きな刺激となり、より一層技術を向上させていきたいという意欲の高まりに繋がっています。

また、交流会以降、国土交通省の方に交付金制度などについて直接の問合せをさせていただいたほか、他社の参加者との交流の機会を持つなど、人脈を広げられたことも私の財産になったと考えています。

私は名古屋からの参加でしたが、所定の3回に留まらず、さらに回数を重ねて議論を行いたかったと思うほど有意義な経験となったため、今年度も参加させていただきたいと思っています。

参加者の間では、今後の交流会の進め方についても議論が交わされたことから、これが活かされ、さらに進化した交流会となることを期待しています。

最後に、お忙しい中、私どもにご助言をいただきました鎌田調整官を始めとした国土交通省の皆さまに厚く御礼申し上げます。



■執筆にご協力いただいた青野様（右）と中島様（左）
中央は国土交通省鎌田調整官

平成 30 年度の募集が間もなくスタートします！

今年度も、交流会への参加募集を7月に予定しています。詳細が決まり次第、協会ホームページ (<http://www.toshicon.or.jp/>) などでお知らせします。今年度も多くのご応募、お待ちしております。

協会レビュー 2018年第1号（平成30年7月発行）

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目二番一八号 ハイツニュー平河3F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp

Website <http://www.toshicon.or.jp/>

編集責任者 須永和久